

## 1 令和7年中の青森県内における交通事故発生状況（総括）

令和7年中の交通事故発生状況は

- 発生件数 2,247件 （前年比 - 31件、- 1.4%）
- 死者数 27人 （前年比 - 16人、-37.2%）
- 負傷者数 2,732人 （前年比 - 2人、- 0.1%）

であり、発生件数、死者数及び負傷者数のいずれも前年より減少し、全国統一の交通事故統計調査となった昭和41年以降、最少となった。

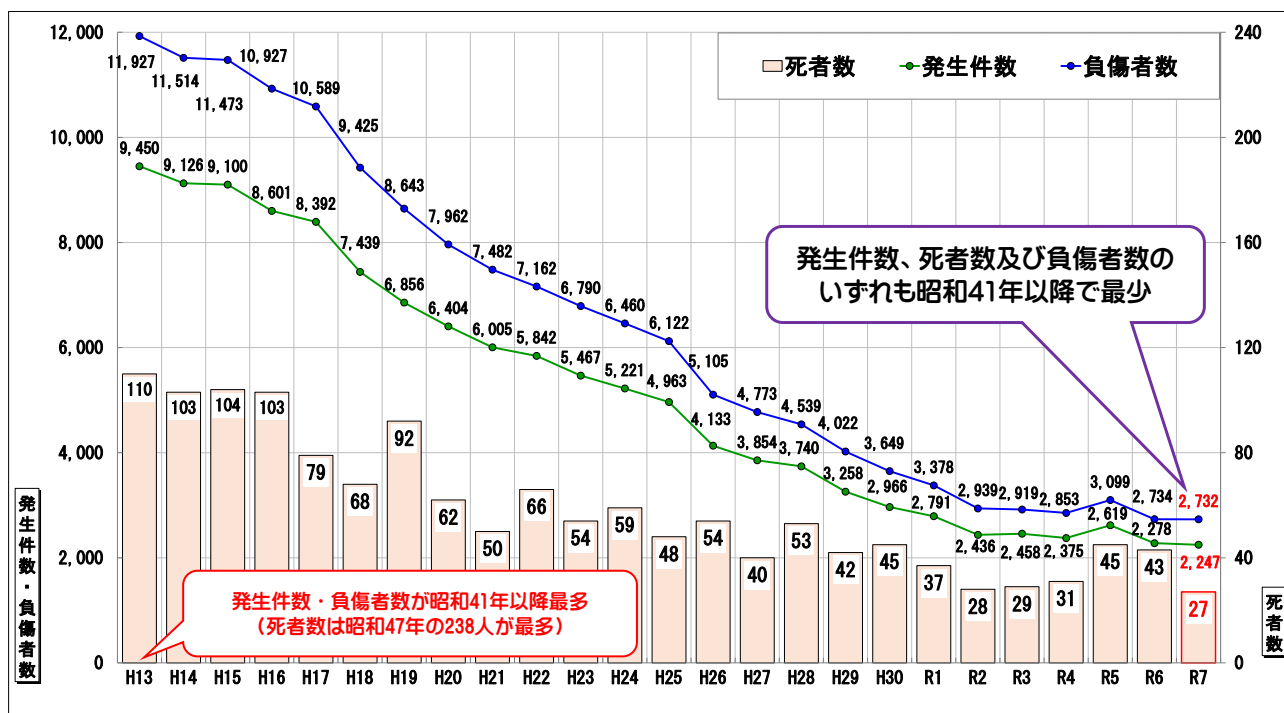
令和7年中の交通死亡事故の（26件27人）の主な特徴として

- 高齢者の死者数は18人（前年比- 8人）と大幅に減少したが、全死者数の66.7%（前年比+6.2pt）を占め、構成率は増加した。
- 高齢運転者が第1当事者となった交通事故の死者数は10人（前年比- 3人）と減少したが、全死者数の37.0%（前年比+6.8pt）を占め、構成率は増加した。
- 飲酒運転による死者数は4人（前年比- 1人）と減少したが、全死者数の14.8%（前年比+3.2pt）を占め、構成率は増加した。
- 自転車乗車中の死者数は5人（前年比+ 3人）と増加し、全死者数の18.5%（前年比+13.8pt）を占め、構成率も増加した。

などが挙げられる。

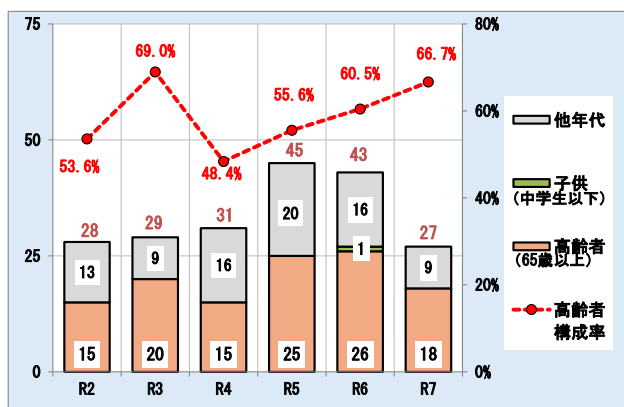
そのほか、車両単独の事故による死者数は9人（前年比- 1人）、歩行中の死者数は6人（前年比- 15人）であった。

## 2 交通事故発生状況推移



### 3 交通死亡事故の主な特徴

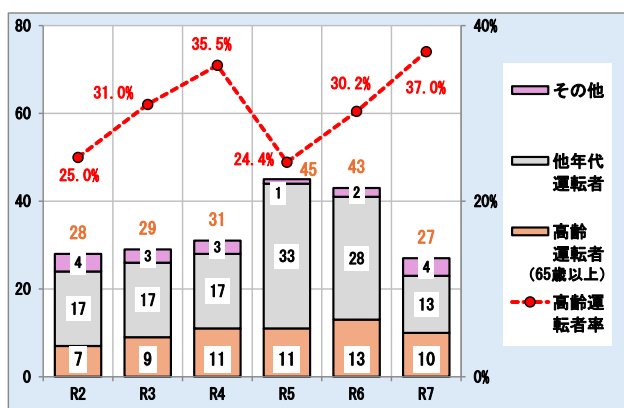
#### (1) 年齢層別の死者数推移



令和7年中の死者数は27人で、前年の43人から大幅に減少した。(前年比-16人、増減率-37.2%)

高齢者の死者数は18人で、前年の26人から大幅に減少(前年比-8人、増減率-30.8%)したが、全死者数の66.7%を占め、構成率は増加した。

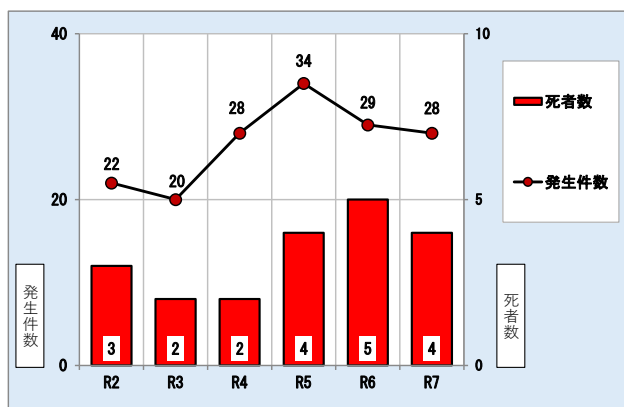
#### (2) 高齢運転者が第1当事者となった交通事故死者数推移



高齢運転者が第1当事者となった交通事故の死者数は10人で、前年の13人から減少(前年比-3人、増減率-23.1%)したが、全死者の37.0%を占めた。

また、過去5年間と比較して、最も高い構成率となった。

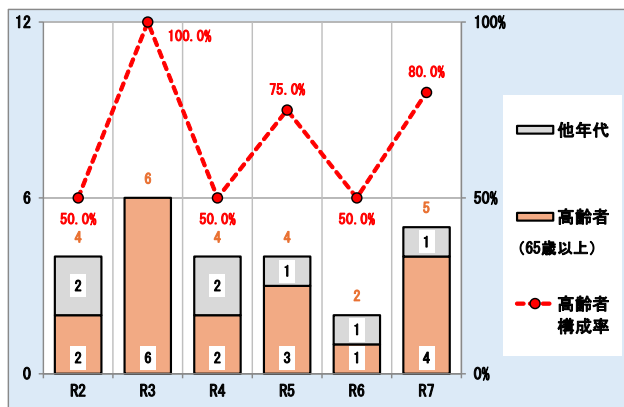
#### (3) 飲酒運転による交通事故発生状況



飲酒運転による死者数は4人で、前年の5人から減少(前年比-1人、増減率-20.0%)したが、全死者の14.8%を占め、構成率は増加した。

また、飲酒運転による交通事故は28件発生し、前年の29件から減少(-1件、増減率-3.4%)した。

#### (4) 自転車乗車中の死者数推移



自転車乗車中の死者数は5人で前年の2人から増加(前年比+3人、増減率+150.0%)したが、全死者の18.5%を占め、構成率は増加した。

また、自転車乗車中の死者5人中、高齢者の死者は4人(前年比+3人)で自転車乗車中の死者の80.0%を占めた。